

1. 小松橋の歩道を広げる工事が完成しました！

瓦版第 15 号でお知らせしました、東淀川区の神崎川に架かる小松橋において実施しておりました歩道拡幅工事が、平成 27 年 5 月に完成しました。

工事前の小松橋の東側歩道は幅が 1.2m と非常に狭い状況でしたが、工事により幅が 2.5m に広がり、通勤・通学をはじめ、橋をご利用の方により安全にご利用いただけるようになりました。

今後も、皆様が橋を安全にご利用いただけるように努めてまいります。



▲工事着手前



▲完成後の様子

2. 新光百景フォトコンテストが実施されています

大阪府、大阪市などが委員となっている光のまちづくり推進委員会では、平成 27 年 6 月 1 日から 8 月 31 日まで、「新 光百景フォトコンテスト」が実施されています。

このコンテストでは、美しい、素晴らしい、みんなに教えた、などと感じた大阪の光のまちの魅力を切り取った写真を募集しています。

これまでも 3 回にわたり「『光百景』アワードフォトコンテスト」を実施しており、様々な入賞作品がホームページ上で公表されています。

大阪市でも光景観の形成を目指し、中之島エリアに架かる橋梁などのライトアップを実施していますので、皆様もお気に入りの橋の写真を応募してみたいはいかがでしょうか。



☆光委員会公式サイト

<http://www.osaka-hikari.com/>

☆フォトコンテストのご案内

<http://www.osaka-hikari.com/photocon/2015.html>

☆facebook

<https://www.facebook.com/hikarinomachi>

3. 難波橋のライオン像が大阪市指定有形文化財に指定されました！

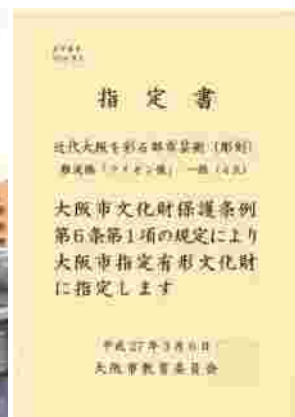
難波橋の四隅の親柱上に配されたライオン像（4 体）が、平成 27 年 3 月 6 日に大阪市指定有形文化財に指定されました。

指定文化財は、本市の歴史や文化を考える上で重要なものを広く市民に普及するとともに、将来にわたって保存と活用を図るために制定されているものです。

難波橋にはライオン像のほかにも最大限の意匠設計がなされており、非常に装飾的な橋台・橋脚、市章を組み込んだ欄干、華麗な照明灯、さらに公園へ降りる広い石造りの階段など、中之島公園と一体となった都市景観を形成しています。

また、この難波橋は、今回指定文化財に指定されたライオン像にちなみ『ライオン橋』の愛称で市民の皆様に親しまれています。

このライオン像のほかにも、次のとおり大阪市の橋には指定文化財や国の重要文化財、土木学会の選奨土木遺産などに指定されているものがたくさんあります。



▲指定されたライオン像と指定書



▲淀屋橋
(重要文化財・土木遺産)



▲大江橋
(重要文化財・土木遺産)



▲本町橋
(指定文化財・土木遺産)



▲天満橋
(土木遺産)



▲天神橋
(土木遺産)



▲浜中津橋
(土木遺産)

(参考 URL) <http://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000301418.html>